

29TH WORLD YWCA COUNCIL

The Young Women's Christian Association YWCA

エンパワーするNGO



世界YWCA総会 スペシャル

若い女性たちが 権力構造を 変えるために

2

FEBRUARY 2020

No.754

www.ywca.or.jp

(第32総会期主題聖句) 平和を実現する人々は幸いである... (日本YWCAの使命) イエス・キリストに学び、共に生きる世界を実現する... (日本YWCAのビジョン) 地域で女性達が主体的に活動することを通して、以下の社会をめざします。 (1)平和憲法が生かされ、核も暴力もない社会 (2)女性と子どもの尊厳を守る社会 (3)若い女性がリーダーシップを発揮する社会 (4)多世代・多文化で多様な背景を持つ人びとを尊重する社会

世界のYWCAメンバーが一堂に会する4年に1度の世界YWCA総会が、11月17日から22日まで南アフリカ・ヨハネスブルクで開催され、80カ国から約500人が参加した。日本YWCAからは代議員6名、オブザーバー7名の計13名が出席し、うち8名のユースたちは、総会テーマの「ジェンダー平等に向けて、若い女性たちが権力構造を変革する」にふさわしく、力強い活躍を見せた。



世界YWCA総会とは

1 | 最高意思決定の場

過去4年間の活動を振り返り、今後4年間の活動方針と予算案を決定、それを実行するリーダーを選出する。また、世界YWCA会則の改正、新規加盟や脱退等の承認、決議やステートメントを採択する。

2 | エンパワメントと学びの場

社会的な課題や、YWCAが直面している課題に関する基調講演、パネルディスカッション、ワークショップ、現地学習などを実施。すべての参加者がエンパワーされ、知識を深め、それぞれのYWCAに持ち帰る。

3 | 出会いと交流の場

毎朝の礼拝やレセプション、地域別会議など、参加者がともに祈り、食し、交流することで絆を深め合う。グローバルなYWCA運動の多様性と豊かさに出会う。

World YWCA Ekurhuleni, South Africa



10000000 likes World YWCA World YWCA Council #YWCA SISTERS #YoungWomenRise #Intergenerational #WorldCouncil2019 #YoungWomenLead view all 12 comments

『あなたが世界のためにできる たったひとつのこと』

【効果的な利他主義のすすめ】

ピーター・シンガー／著 関美和／訳 NHK出版／発行 1700円＋税



book review

デジタルネイティブ、多様性と個性を重視、ミニマルな生活を心掛け、社会貢献活動に熱心... 『効果的な利他主義』に於いては自己犠牲ではなく「世界にポジティブな変化をもたらす大きなチャンス」なのだ。一方で、科学的な根拠と理性に基づいて最大のインパクトを与えられる選択肢を取るといふ合理的な考え方を... 彼らは、まるで投資先を選ぶように、同じ金額ではるかに多くの命が救える「費用対効果が高い」チャリティを選択するという。先進国で病氣と闘う子どもを助ける財団と、途上国で蚊帳を配るマラリア対策基金ならば、後者に寄付をするのだろう。若い世代の思想の背景が伺える1冊。

編集部 吉田亜希

- ご協力ありがとうございました
賛助費
金井淑子 渡邊順子 秋元靖子
村松幸子 佐渡正光 桐村巨子
首藤和子 庄田幸子 得永道子
三宅文子 依田良子 山岡清二
宋富子 石原清美 高月三世子
片山恵 土屋幸子 帆足嘉代子
小坂宣雄 永山峰子 大里喜美子
町田裕子 望月和子 八村悠紀子
福田公子 皆川悦子 大澤恵美子
森田矩子 野澤節子 中平多恵子
辻井夏子 浅原千代 山田久美子
伊藤恵子 西田和子 谷山久美子
太田尚子 八木高子 藤井野百合
比企敦子 古西正子 市村貴美子
杉本陽子 藤野尚子 梶原恵理子
板橋俊子 藤垣弥生 松村ユカリ
篠原紀子 板橋幸子 高岩由美子
北原恵美 井田すみ 白木原唯子
野呂幸子 白田治子 加納美津子
馬場元毅 熊江雅子 高橋昌二郎
毛利亮子 熊江雅子 小野寺富子
小泉迪子 吉野恵子 池上三喜子
一杉静子 本多峰子 中尾賢三子
藤井初子 後藤光彦 伊藤いく代
山高万寿子
匿名

- 世界YWCA総会派遣募金
千葉仁子 磯貝聡子 桐村巨子
得永道子 依田良子 藤岡綾子
片山恵 俣野尚子 高月三世子
原紀子 森田矩子 清水嶋洋子
郡恭子 宮澤玲子 武内富貴代
寺沢京子 太田尚子 中島美登里
西田悦子 比企敦子 西原美香子
杉本陽子 杉山知子 長尾眞理子
井上玲子 白田治子 高橋昌二郎
毛利亮子 一杉静子 中尾賢三子
国中正人 藤井初子 山本貴美子
日本聖公会南静園聖ミカエル教会
大版YWCA Y.M. Y.W合同祈禱
連集会
北海道3地域YWCA
クラウドファンディング
匿名

- 災害時支援募金
(オリープの木キャンペーン募金)
渕城愛 渕城恵 渕城恵利
田林純紀 佐藤孔美 庄田幸子
得永道子 角井桂子 河野恵子
田中良明 山本容子 上田京子
小坂宣雄 坂本純子 谷内奈子
川上哲 林一郎 高橋千沙子
片山恵 浅原千代 富田美樹子
田中甫 太田尚子 友田シズエ
張善花 月原綾子
匿名

発行所 公益財団法人日本YWCA 〒101-0062 千代田区神田駿河台1-8-11 東京YWCA会館302号室
Tel. 03-3292-6121 Fax. 03-3292-6122 office-japan@ywca.or.jp www.ywca.or.jp

旬な情報発信しています | メルマガ登録 y-net@ywca.or.jp | お名前を送ってください / フェイスブック www.facebook.com/YWCAJapan

メールにてご意見・ご感想をお寄せください。今後の紙面づくりの参考にさせていただきます。 office-japan@ywca.or.jp 無断での複写・転用・転載はご遠慮ください。



地域YWCAから寄せられた物品に海外のメンバーは興味津々



手に取ってしっかりチェックするところも万国共通

万国共通のバザー愛 日本YWCAブース大盛況

ランチタイムに開催された「Zenzele (南アフリカの言葉で「自立」の意) マーケット」には各国のYWCAや地元業者がブースを出展。個性豊かな特産品やオリジナルグッズ、活動紹介パンフレットなどが並び、お土産や掘り出し物を求める参加者で大いに賑わっていた。YWCAのバザー愛は万国共通なのだ。総会期間中は自由に外出することができず会議場に缶詰め状態だったこともあり、貴重なショッピングの機会となったことも盛会の一因だろう。

日本YWCAメンバーもお揃いのほっぴを着て、地域YWCAから提供された手作り品やオリジナルグッズを販売。まとめ買いをする人もいほど好評だった。また、核兵器のない世界を実現するための「ヒバクシャ国際署名」への協力をお願いすると、多くの方が快く応じてくれ、104筆もの署名が集まった。これも日本YWCAが粘り強く「核のない平和」を訴え続けてきた証しである。署名をした方には、日本全国の会員から寄せられたリユースうちわや折り鶴を手渡し、これまたいへん喜ばれた。

今後の4年間に取り組む 3つの優先課題が採択

次回2023年の世界YWCA総会までの4年間の方針である「2020—2023年 計画と方策の枠組み」が採択された。この方針書は、①組織運営とガバナンス②YWCA内外の連携とコミュニケーション③少女・若い女性・女性の参加という3つの優先課題を柱に据えている。

この3つの柱の下には、世界YWCAや加盟YWCAが取り組むべき具体的な12の優先事項が示されている。「説明責任の強化」「女性団体のなかのYWCAの位置づけや強みを見出すこと」「女性のリーダーシップやセーフ・スペースのモデル・プログラムの提供」など、いずれの優先事項も持続可能で活発なYWCA運動に貢献し、世界中の女性の生活に前向きな影響を与えるものとなっている。



代議員を務めた福田百さん(神戸YWCA)と高野果歩さん(熊本YWCA)

平和をもたらす アジアからの熱い風

アジア地域のYWCAはこれまで、ミャンマー(2017年)と韓国(2019年)で地域会議を開催し、互いの信頼と連帯を深めてきた。本総会でも世界YWCA副会長ハン・ミミさん(韓国YWCA)の呼びかけで会合が持たれ、連帯の力と重要性を再確認した。

また、日本YWCAのユースのみならず、アジア地域のユースがパネルディスカッションや司会に登壇するなど、その活躍ぶりは4年前の前回総会では見られないものであった。アジア地域YWCA同士の連帯が深まるとともに、中長期的ビジョンに基づいて若い女性リーダーを育成する努力が結実しつつあるようだ。なお、議事の間では韓国YWCAが提出した朝鮮半島の平和に関する決議案が採択された。



若者たちのデモの実情をアピールする香港YWCAのユース

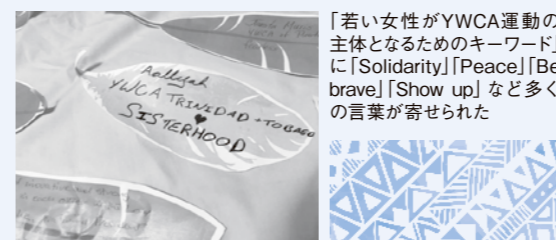


総会のために作成したオリジナルTシャツを着てワークショップに臨んだユースたち

ユースによるワークショップ 世界のメンバーを沸かせる

日本YWCAは、ユース主導のワークショップ「若い女性がYWCA運動の主体となるには？」を企画した。まず導入として、日本YWCAのビジョンと、日韓ユース・カンファレンスなどユース主体のプログラムを紹介。メインは、ユースがYWCA運動に関わる上で重要な5つの要素①多世代協働②ネットワーク③スキルを身につける・活かせる④地域に根差した活動⑤セーフ・スペースについて、自らの体験に基づいて発表。最後に、参加者に羽根をかたどった紙を渡して「若い女性がYWCA運動の主体となるためのキーワード」を書いてもらい、その羽根を集めて翼を描くというプランを練り上げた。

早朝、深夜と練習を重ねてきた8人のユースたちは、約40名の参加者を前に堂々と発表し、会場を沸かせた。参加者の中にはケイシー・ハーデン世界YWCA総幹事の姿もあった。さらに改良を重ねて2日後に臨んだが、直前のセッションがまさかの時間オーバー。そのため時間短縮を求められ、メインの体験談の部分に泣く泣くカットするという事態に。そうした度重なる変更にもユースたちは臨機応変に対応し、短期間で著しい成長曲線を見せた。



「若い女性がYWCA運動の主体となるためのキーワード」に「Solidarity」「Peace」「Be brave」「Show up」など多くの言葉が寄せられた

世界YWCA総会 5大ニュース

世界YWCA総会では、6日間にわたって会議や催しなど多くのプログラムが行われた。すべては紹介できないので、とりわけ日本の私たちにとって重要と思われる5つのニュースを本紙特派員が報告する。



新しい世界YWCA会長に ミラ・リゼックさんが選出



世界YWCAの変革の舵取りという重い責務を担う世界YWCA会長に手を挙げた3名の候補者の中から、パレスチナYWCAのミラ・リゼックさんが選ばれた。

イスラエルによる占領の痛みに直面しているパレスチナから会長が誕生したことで、世界共通の課題「正義ある平和」への取り組みが、再び活性化することが期待できる。

日本YWCAは、パレスチナYWCA・東エルサレムYMCAによる「オリーブの木キャンペーン募金」への支援や「オリーブ収穫プログラム」への参加者派遣を通じてパレスチナの仲間たちと親交を深め、信頼関係を築いてきた。世界総会では食卓を共にすることを慣例としているが、今回は朝食会を設け、今後の交流のあり方などを語り合うことができた。その席で、神戸YWCA会員の筆による平和の聖句が贈られる場面もあった。



パレスチナYWCA総幹事を長年務めてきたミラ・リゼックさん(中央)

Key Word

持続可能なYWCA運動

世界YWCAは近年、加盟費や補助金の減収や世界的不況による投資の損失等による財政赤字に苦しみ、予備費を取り崩して運営している。そのため、事務局のスタッフの大幅削減、財政運営・加盟費算出基準の見直しを図り、財政の持続可能性を高める努力を行ってきた。ほかにもホームページの開設やニュースレターの配信、SNSを活用するなどYWCA内外とのコミュニケーションの活性化、セクハラ防止や内部告発者保護政策の採用による信頼度の強化、オリジナルグッズの作成によるYWCAブランドの構築など、持続可能性を高めるためのさまざまな取り組みを行っている。日本YWCAでも世界YWCAの実践に学ぶことは多いだろう。



私たちはどう変える？

2035年への共通目標をキーワードに考えよう

2015年にタイ・バンコクで開かれた世界YWCA総会で、2035年に向けた私たちの共通目標（Envisioning2035）が採択された。その実現に向けて具体的な第一歩を踏み出した今回の世界総会では、希望と進歩とともに大きな課題も見えてきた。日本の私たちの活動にも関わるこの共通目標をキーワードにして、この総会で見えてきたことを共有したい。

日本YWCA副会長 吉田亜希

Key Word

インクルーシブなYWCA運動

会則改正についての協議の中で、大きな議論を呼んだのは、オランダYWCAが提案した会則前文の修正だ。世界YWCA会則の前文には「世界YWCAは、(中略)全能の神、イエス・キリスト、聖霊への信仰を基盤とする」とあるが、これを「世界YWCAは、(中略)キリスト教の価値観を基盤とし、あらゆる信仰と宗派の人々を歓迎する」と変更する案である。

キリスト教に対する姿勢は各国YWCAによってさまざま。議場では「すべての信仰の女性、信仰を持たない女性がYWCAを自分の場だと感じられるようにしたい」という考え、『三位一体』を意味する文言を削除するとYWCAの根幹であるキリスト教アイデンティティが弱まる」という声、「キリスト教の教え自体がすべての人を受け入れているので修正は不要」との意見など、長時間の議論が行われた。この修正案は否決されたが、YWCAは異なる世代だけではなく、異なる信仰に対してもインクルーシブ（＝誰も置き去りにしない）であるべきという提案にも一理はあるだろう。今後も議論を重ねてキリスト教基盤とインクルーシブネスの最適なバランスを探るべきである。

2035年への共通目標

2035年には、1億人の若い女性と少女が、正義とジェンダー平等を実現し、暴力・戦争のない世界をつくるため権力構造を変革し、すべての女性にインクルーシブで持続可能なYWCA運動を先導します。

YOUNG WOMEN
TRANSFORMING
POWER
STRUCTURES
FOR GENDER
EQUALITY



Key Word

YWCA運動を先導する若い女性と少女

前回の総会で、世界YWCA運営委員に占める30歳以下の女性の割合が6割に達し、YWCAは「若い女性による若い女性のための運動」へと舵を切った。今回の総会でも若い女性が代議員の30%、全参加者の33%を占め、運営委員選挙結果も前回の割合を維持した。また、本会議、ワークショップや、テーマ別セッションなどで若い世代が司会やリソースパーソンを務めるなど、あらゆる場面で若い世代の活躍が光った。

しかし他方では、各国、地域において「意思決定機関の25%を若い女性に」が達成されているか、また達成しても単なる数合わせだけでなく、本当に意味のある参加ができていだろうか——。多くのYWCAで、世代交代が進まない、若い女性への取り組みを最優先課題としていないなどの課題が前総会期から引き続き存在している。若い女性は今日のリーダーであり、明日のリーダーではない。世代間でリーダーシップを共有すること、また年長の世代に若い女性の「味方」を増やしていくことは、日本のYWCA運動にとっても急務である。



Key Word

権力構造を「変革」する

6日間を通じて会場は、「権力構造の変革」に向けたメッセージとエネルギーに満ちていた。グローバルファンド・HER campaignの南アフリカ親善大使 Sibulele Sibacaさんは、HIV/AIDSで両親を失った少女時代から世界的な女性活動家となるまでの不屈の歩みを語り、聞く者に勇気を与えた。また、南アフリカ元総幹事は、文化・学びの場という要素が強かったYWCAを次世代の女性たちが社会を変革する力に変えていったストーリーを紹介。日本のYWCAにも示唆を与えるものであった。

一方で、若い女性の諮問委員会報告を聞いて、若い女性・少女たちが、まずYWCA内部でその活躍を阻む「権力構造」に直面していたことに気が付いて愕然とした。1億人の若い女性・少女に変革をもたらすためには、まず「私たち自身を変革しなければならない」ことを痛感させられた。次総会期に向けたミッション・ビジョン、組織運営のあり方、プログラム内容、働き方改革……日本YWCAにとっても転換期の今、変えるべきものを変える勇気が求められている。

29TH WORLD YWCA COUNCIL

設立から164年目を迎える歴史の深いYWCAには、たくさんのレジェンドと呼べる方々がいます。アメリカYWCA主催による夕食会では、そうしたレジェンダリーな女性たちの功績を称える時間が設けられていました。写真の右側に写っているのは、Dr. Ellen Vuyiswa Blekieさん。元南アフリカYWCAの会長で、南アフリカで最初に医学を学んだ女性の一人。自由と平等を求めて反アパルトヘイト運動にも精力的に参加されたそうです。食事後にダンスをされていた様子は、とってもパワフルでチャーミング。今でも現役そのものでした!

Safoko Yamaguchi



レジェンドに出会えた!

日本YWCA職員 山口慧子



Nanairo Bashe

ソロモンの友

世界YWCA総会に参加して多くの人に出会い、仲良くなりました。その中でも一番心に残っているのは、ソロモン諸島YWCAの会長のアリキさんとの出会いでした。彼女は日本のことが好きだと言ってきて、会うたびに話しかけてくれるとても優しく素敵な方です。アリキさんに出会うまではソロモン諸島のこともまったく知らず、ましてやYWCAがあるなんて思ってもいませんでした。しかし、お話を聞いているうちにどんな島なのかとても興味がわきました。ぜひ今度はソロモン諸島に行ってみたいと思います。

京都YWCA会員 別所七色



Maki Sakano

立ってみたい!

朝早く会場へ。まだほとんど人がいませんでした。今だ! と思って、壇上が上がってみると、何だかドキドキと、少し緊張して、背筋が伸びました。このステージでは、毎日いろんな女性たちが立って、自分の想いを自分の言葉で語り、届けていました。私と同じユースも、たくさんここに立っていました。私もいつか本当にここに立って、自分の想いを伝えたい!

実現するためには、YWCAの活動だけでなく、日々いろいろなことに関心を持ち、学び、疑問を持ち、考えて……とアンテナを張っていかうと思いました。

熊本YWCA会員 坂本真紀

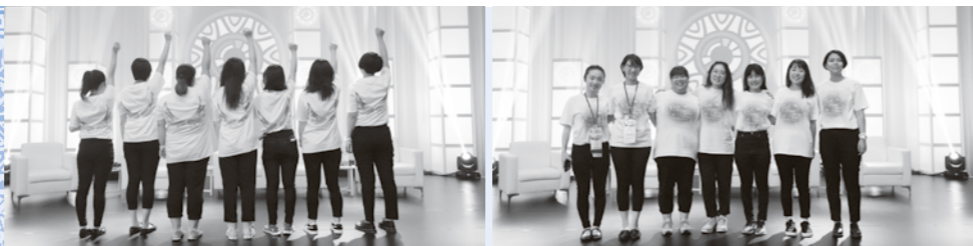


Ritsuru Okuyama

参加者から運営者へ

初めて山本光さんと会ったのは私が高校2年生、彼女が中学1年生のとき。その時は私も彼女も「ひろしまを考える旅」の参加者だった。気づけば私は社会人、彼女も大学1年生で南アフリカへ。ひたすら好奇心旺盛で活発だった彼女も世界中の仲間たちへ日本YWCAでの活動を発信するワークショップの運営者になって、堂々と英語で発表していた。活動を知る側から伝える側へ。YWCAに関わり続ける中で成長していくのだと実感した。YWCAは居場所であるだけでなく、確かに若い女性のリーダーシップを育成する団体なのだ、世界に出たときにふと再認識させられる。

京都YWCA会員 奥山りつ



とっておきの1枚で伝えたい!

世界YWCA総会は、8人のユースたちにたくさんの出会いと発見をもたらした。ひとことでは語りきれない6日間のストーリーの中から特に心が躍動した瞬間を、「とっておきの1枚」で伝える。



Hikari Yamamoto

みんな踊れ!

ガラパーティーの1枚です。南アフリカ独特の歌とダンスを披露するステージで子どもたちが一生懸命に踊る姿を写真に収めました。この方たちのおかげでパーティーを最高に楽しめたと言っても過言ではありません! 世界各地のYWCAメンバーが真ん中に集まってみんなでダンスをしました。この子たちのマネをして踊ったりデュエットダンスをする人もいたり、みんながそれぞれ好きなように踊り歌い、言語や世界の壁を超えて本当に一体感を感じられる空間でした。間違いなく私の一番楽しかった思い出です!!

京都YWCA会員 山本光



Saki Yamada

ユースが導く未来像

台湾・台北YWCAのメンバーと仲良くなりました。ソーシャルワーカーをめざしている私としては、台北YWCAのソーシャルワーカー(左から一人目)と台北・日本の相互の問題について話し合い、またソーシャルワーカーとして今後どのようなことが必要かを話したことは、とてもためになる経験でした。そして帰国後、今後の日本と台北それぞれのYWCAがお互いにより良い関係を築いていくために話し合いが行われています。この写真は、その1歩目を映したもので、ユースが導く未来像」というタイトルを付けました。

京都YWCA会員 山田咲希

ノルウェーYWCA/YMCAのみなさんと。民族衣装ブーナッド(Bunad)はとってもかわいいものでした。しかも、プラスチックやカンなどのごみから作られているんですよ。持続可能な社会を考えると、環境・経済・社会をどうしてもバラバラに捉えがちで総合的に考えることの難しさを感じていました。しかし、「衣」から多様な文化を体感するオープニングセレモニーで、環境を大切にするとどうということだろうと考えるきっかけをもらい、とても興味深かったです。自分自身もいろんな命を大切にしたい振る舞いのできる人間になりたいと思いました。

Momo Fukuda



衣とサステナビリティ

神戸YWCA会員 福田百



Kaho Takano

南アフリカの地で再会!

アメリカのパークレーYWCAの会長のLeslieさん(右)と幹事のJennyさん(左)と撮りました。

私は2019年5月から8月にアメリカのパークレーYWCAでボランティアとして研修をさせていただきました。そのとき特にお世話になったお二人です。日本に帰る時、南アフリカで再会することを約束していました。その約束を実現できたことが、とても嬉しかったです。いつか、熊本YWCAとパークレーYWCAとでプログラムができたらと思っています。近い将来、実現させたい!!

熊本YWCA会員 高野果穂